



ほん ちょうせん 本をすすめるポップに挑戦！

この本をすすめる相手 家族
伝えたいこと 釘の秘密とはどんなものか。



古代の釘、その驚くべき秘密とは!



「千年の釘にいどむ」 内藤 誠吾文

あなたは、奈良の薬師寺に使われる釘をご存じですか。なんと、この釘は約1400年くらい前の釘なのです。この本は、古代の建物や、最強の古代の釘の工夫について、よく分かります。古代の人が作った、釘の素晴らしさをこの目で確かめください。

キャッチコピーが面白い!
いい言葉を選び取られ、紹介文の中の目につく
[いい言葉の色を変えても、よいです。]

この本をすすめる相手 いとこ
伝えたいこと 白鷹さんのあきらめず釘をつくり続ける姿勢



1つ1つに心をこめて



「千年の釘にいどむ」 内藤 誠吾文

あなたは、千年もつ釘があることを知っていますか。千年もつ、じょうぶでさびない釘、その釘を、白鷹さんは作るつとしています。このお話には千年もの間、建物を守り続ける釘をつくるかじ職人、白鷹さんの意地、姿勢がかかれています。白鷹さんは、手作業で、1つ1ついねいに、気持ちをこめて釘を作っています。

キャッチコピーの言葉が美しいに、目にとまり、
2個のポップができています。

この本をすすめる相手 お姉ちゃん
伝えたいこと 昔の釘と現代の釘のちがいをみきわめ、白たかさんが努力している姿勢を伝える。



努力のむごうの釘



「千年の釘にいどむ」 内藤 誠吾文

かじ職人は釘をつくる職人です。じょうぶで千年もつ釘をつくるには、白たかさんのような姿勢が必要です。白たかさんは、すばらしいこととやりとげた千年前のかじ職人に負けるわけには、いかないと強い思いをもっているのです。もともと、いい釘をつくらうと、とても努力して一生懸命なんだということがよく伝わってきます。白たかさんは、とてもすばらしい釘をつくらっています。

白たかさんの釘作りの姿勢の丁寧な様子が、
読み手に伝わりました。

つた あいて いしき ～伝える相手を意識して～

5年生の国語の授業で、本をすすめる「ポップ」づくりをしました。ポップとは、チラシの一種です。誰にどのようなことを伝えたいかを考えて、作品を仕上げました。

伝える相手に応じて、分かりやすい言葉を使ったり、丁寧な表現で書いたり、相手を意識した文章になっていますね。

これからもどんどん発信していきましょう!

さいばい ～「りりこ」の栽培～

今年も、2年生と特別支援学級の仲間が、校舎南にある畑で食用トマト「りりこ」を栽培して、たくさん収穫することができました。ゆり組とすみれ組の子たちが、トマト1個1個きれいに洗って給食室に届けてくれました。

給食のメニュー「トマトみそしる」と「ハヤシライス」「スパイシービーンズスープ」に、この畑で収穫したトマトが使われました。

